

セバタクロールボール工作手順

セバタクロールは東南アジアの伝統的な球技だそうです。

このボールをPPバンドで作ります。

用意するもの

作るときに使用する材料

・PPバンド(幅1.5cm長さ27cm 6本)

DAISOで購入可(PP: プラ製バンド)

(色は2種類あった方がよい)

工作用道具

・ハサミ

・幅10mmと15mmの強力両面テープ

・ダブルクリップ(挟み口19mm 10個)



事前準備

①PPバンドを長さ27cmにハサミで切る。これを6本作ります。ただし、5本は同じ色で、他の1本は別の色の方が作りやすいです。

①添付のラベルをハサミで切り取り、両面テープで5本(同じ色)のPPバンドの両端に貼り付ける。

(両面テープを貼ってからラベルをハサミで切るのがよい)

下图のように1本のPPバンドはA1とA2を両端に貼る。以下、B、C、D、Eを貼る。

1本目	A1	A2
2本目	B1	B2
3本目	C1	C2
4本目	D1	D2
5本目	E1	E2

②15mmx15mmの両面テープを5本のPPバンドのA2、B2、C2、D2、E2の面と反対側の先端に貼る付ける。

1本目	●	反対側A2
2本目	●	反対側B2
3本目	●	反対側C2
4本目	●	反対側D2
5本目	●	反対側E2

「三すくみ」について

この工作では3本のPPバンドを「三すくみ」にします。

右図の写真のように、PPバンドが互いに上下上下と重なって、動きを固定する技法です。(図1)



図1

工作I

①5本のPPバンドを使って5カ所の三すくみを組みます。

5カ所の三すくみを5個のダブルクリップで固定します。(図2)

次に、5カ所の三すくみをできるだけ中心に集めます。(図3)

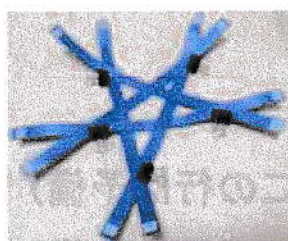


図2



図3

②次に、残り1本のPPバンドの両端を、両面テープで接着し、輪にします。(図4)

図4



- ③ 図3の5本のPPバンドに、図4の輪を、
「三すくみ」になるように入れていき、
5個のダブルクリップで止めます。(図5)

図5



- ④ 最初に使用した5個のダブルクリップを外し、
図4の輪を中ほどに入れていき、ボール半分の形にします。(図6)
次に、2回目に使用した5個のダブルクリップも外し、図7のように上部を組みます。



図6



図7

- ④ 最後に各PPバンドの両端を、
両面テープで止めます。
止め方は、1本のPPバンドの両端を止めます。
今回は、A1とA2、B1とB2、C1とC2、D1とD2、E1とE2
を貼り合わせます。(図8)
この時、2本のPPバンドと交差しますが、
「三すくみ」になるように交差させます。



図8

セパタクロールボールの完成です。



以下はラベル

A1 A2 B1 B2 C1 C2 D1 D2 E1 E2

A1 A2 B1 B2 C1 C2 D1 D2 E1 E2 (この行は予備)

A1 A2 B1 B2 C1 C2 D1 D2 E1 E2 (この行は予備)

A1 A2 B1 B2 C1 C2 D1 D2 E1 E2 (この行は予備)

A1 A2 B1 B2 C1 C2 D1 D2 E1 E2 (この行は予備)